

© GK Angie Kremer

マルタ・アルゲリッチ (ピアノ)
ギドン・クレーメル (ヴァイオリン)



© Y Koseki

Martha Argerich, *Piano* Gidon Kremer, *Violin*

2022年 6/5 (日) 19:00

6/6 (月) 19:00

サントリーホール

Sunday, June 5, 2022 at 7 p.m.

Monday, June 6, 2022 at 7 p.m.

Suntory Hall, Tokyo

料金: S ¥20,000 A ¥17,000 B ¥13,000 C ¥9,000

ロボダ、シルヴェストロフの無伴奏作品 (クレーメル・ソロ)
TBA
(Works by Igor Loboda and Valentin Silvestrov; dedicated to the Ukraine)

ヴァインベルグ:
ヴァイオリン・ソナタ第5番 op. 53
(アルゲリッチ&クレーメル)
Sonata for violin and piano No. 5

ピアノ曲未定 (アルゲリッチ・ソロ)
TBA

ショスタコーヴィチ:
ピアノ三重奏曲第2番 ホ短調 op. 67
(アルゲリッチ&クレーメル&ディヴァナウスカITE)
Shostakovich: Piano Trio No. 2 in E minor op. 67



ギードレ・ディルヴァナウスカITE (チェロ)
Giedre Dirvanauskaitė, Cello

待ち望んだ伝説のデュオ、プラス・・・！

古くはティボー&コルトーやグリムオー&ハスキル、少し前ならデュメイ&ピリスだろうか？昔からヴァイオリンとピアノの名手、大家同士によるデュオは多いが、クレームルとアルゲリッチほど、音楽界に衝撃を与え、一世を風靡し、さらにはデュオの在り方に革命すら起こしたコンビはないだろう。コロナ禍で2年の延期にはなったが、伝説のデュオ、そしてプラスαがついに日本へ。

この2人のデュオが最初に注目されたのは、1980年代のベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ集のCD。評論家の故・吉田秀和が「アルゲリッチが火とすれば、クレームルはさしずめ水の音楽家といえようか。この若武者たちはかつての大家たちをも一気に押しつけてしまった」といった言葉を寄せていたが、これはまさしく空前のデュオの登場で、1987年にはコンビ初来日を果たした。調和を尊ぶデュオ、個性をぶつけ合うデュオと大別したら、彼らは明らかに後者であり、炎のようなテンパメントで躍動するアルゲリッチと、知的直観で音楽の深みへと切り込んでいくクレームルという天才同士が激しくぶつかりながらも、それがより一層高い次元へと昇華し、信じられないほどの調和を実現した。天才はスタンダードをアップデートさせるのだ。

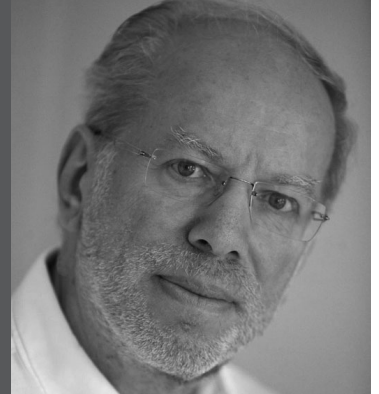
もっとも今回、純粋なデュオとしての演奏は、クレームルが火付け役となって広がりを見せるポーランドの作曲家ヴァインベルクのソナタのみ。彼らの盟友、チェコのディヴァナウスカイトを加えた、ヴァインベルクと親しかったショスタコーヴィチの傑作トリオは、今の世界の空気をリアルに伝えるものとなるだろう。そして2人の名手それぞれのソロ・・・これ以上ない高みにいる各々が伝えるメッセージや如何に？

(A)



マルタ・アルゲリッチ
(ピアノ)
Martha Argerich, Piano

アルゼンチンのブエノスアイレス出身。1965年にショパン国際コンクールで優勝し、以来、世界最高のピアニストの一人として、現代に至るまで折折りの見事な芸術活動を行っている。超一流のオーケストラ、指揮者、音楽祭などから頻りに招かれ、室内楽にも招かれている。名盤として知られる録音も数多い。1998年から別府アルゲリッチ音楽祭の総監督を務め、2002年からはルガーノ・フェスティバル「マルタ・アルゲリッチ・プロジェクト」を、2018年からはハンブルクで新しくアルゲリッチ・フェスティバルを開催して親しいソリスト達と出演を続けている。2015年から広島響の「平和音楽大使」に就任。フランスの芸術文化勲章オフィシエや、日本の旭日中綬章など、受賞や叙勲も多い。



ギドン・クレームル
(ヴァイオリン)
Gidon Kremer, Violin

ラトヴィアのリガ出身。現地の音楽学校で学んだあと、モスクワ音楽院でD.オイストラフに師事し、パガニーニ国際コンクールやチャイコフスキー国際コンクールで優勝している。現代最高のヴァイオリニストの一人として、レパートリーはバロックから現代曲まで広範にわたり、特に自身の出身地であるバルト三国から東欧の作曲家による作品の発掘や演奏に熱意を傾け、多くの作品を献呈されている。1997年にはバルト三国の有能な若い音楽家の育成を目的としてクレメラータ・バルティカを設立した。現在はポーランドのヴァインベルクの作品演奏に力を注いでいる。アルゲリッチとのデュオの名盤を含む120枚を超えるアルバムを制作し、多くの賞を受賞。2016年には高松宮殿下記念世界文化賞を受賞。

ギードレ・ディルヴァナウスカイト(チェロ) Giedre Dirvanauskaite, Cello

リトアニア生まれ。故国の音楽アカデミーで学んだ後、ロストロポーヴィチやクレームルらにも師事、ロッケンハウス音楽祭にも招かれた。リトアニア国立響や室内管でソリストとして活躍し、クレメラータ・バルティカに入団。以後クレームルとは長年の信頼関係の中で演奏活動を行い、ピアノのトリオやフとの3人でのラフマニノフ「悲しみのトリオ」など、録音も好評。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

カジモト・イープラス会員限定先行受付:

5/7(土)10:00~5/10(火)18:00

先行受付専用番号

TEL: 050-3185-6713

チケットスペース

検索

www.ticketSPACE.jp/

チケットスペース 03-3234-9999

電話受付: 平日10:00~12:00 13:00~15:00(発売日除く)

ミュージックプラント/チケットスペース会員限定先行受付:

5/7(土)10:00~5/10(火)18:00(電話予約は15:00まで)

チケットスペースへの登録が必要です。(無料)

チケットぴあ <https://pia.jp>

e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

ローソンチケット <https://l-tike.com/>

サントリーホールチケットセンター

0570-55-0017

<http://suntory.jp/HALL/>

一般発売: 5/14(土)10:00~

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。

●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

【感染症対策についてご協力お願い】

ご来場の皆様に安心して聴きいただくため、当公演では新型コロナウイルス感染症に対する感染予防、拡散防止に細心の注意を払い、様々な対応策を講じた上で公演を実施いたします。

●会場内では正しいマスクの常時着用、入場時の検温、手洗い・消毒の励行にご協力ください。また、開場中・休憩中・終演後の、密集してのご歓談をお控えいただくようお願いいたします。

●発熱や咳などの症状がある方、新型コロナウイルス感染症陽性者と濃厚接触者はご入場いただけません。●クロークの営業は停止しております。●お荷物のお預かりはできません。

●当日券をご購入のお客様にはその場でお名前とご連絡先をご記入いただきます。 ※2022年4月現在のガイドラインに基づく対策です。詳細ならびに最新情報は公式ホームページでご確認下さい。